

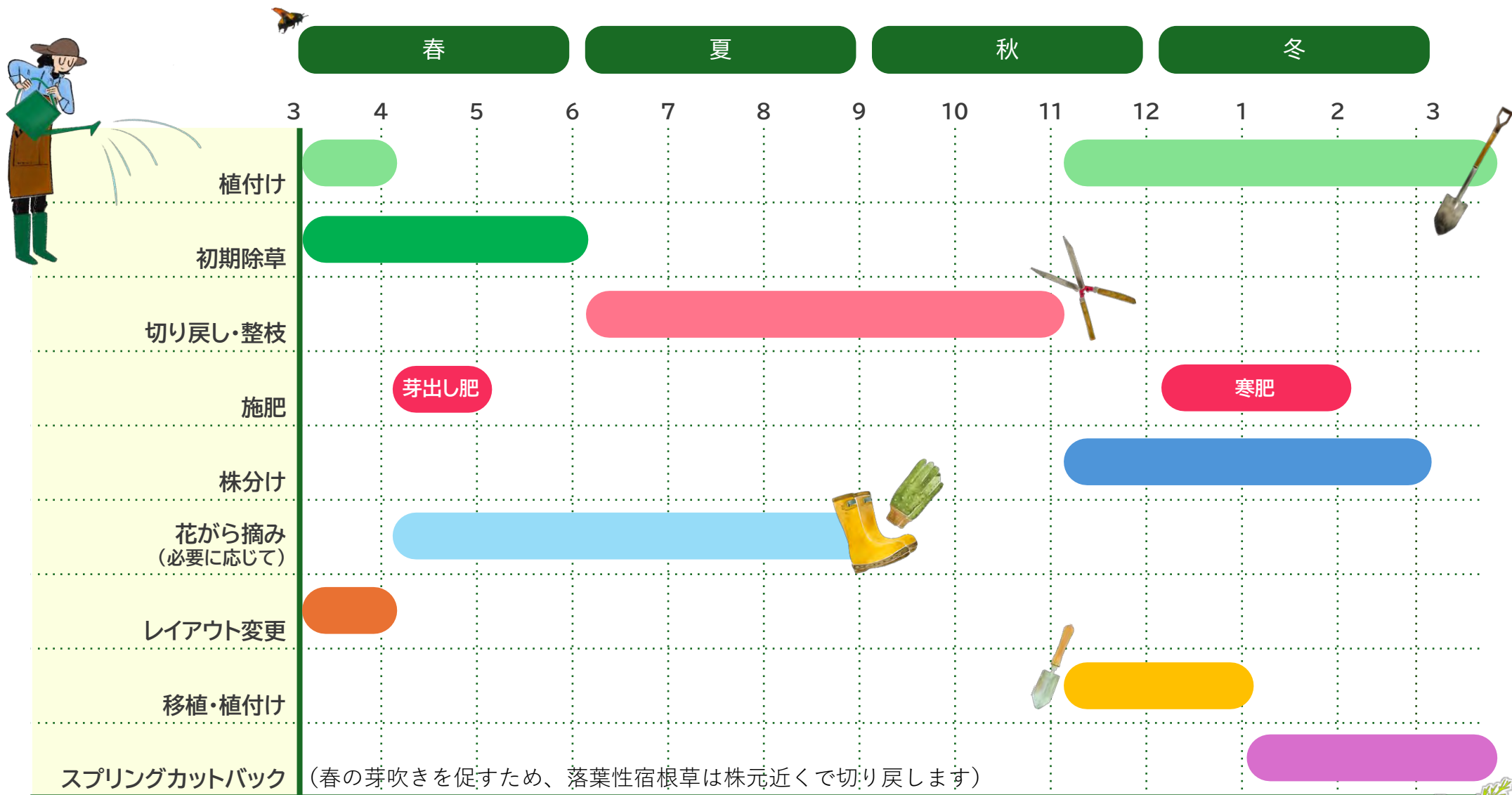


市ヶ尾町公園花壇植栽 観賞時期

計 160pt (新規苗 107pt 既存移植苗 53pt)

 開花  葉やシードヘッドの鑑賞期間

番号	記号	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
1	Ac	<移植> アキレア													15pt
2	As	<移植> ミヤコワスレ													10pt
3	Eu	<移植> ユリオプスデージー													1pt
4	Ty	<移植> クリーピングタイム													15pt 常緑
5	Rh	<移植> ローダンセマム													10pt
6	Ec	<移植> エキナセア													2pt
7	...	オミナエシ													10pt
8	×	ルドベキア マキシマ													10pt
9	◎	ヘリオプシス ブリーディングハーツ													10pt
10	●	ユーパトリウム 羽衣													4pt
11	E	ユーフォルビア ウルフェニー													10pt 常緑
12	A	アガパンサス ファイヤーワークス													10pt 常緑
13	H	ヘレボラス オリエンタリス													13pt 常緑
14	C	カレックス エヴァリロ													5pt 常緑
15	R	ルドベキア ゴールドストーム													10pt
16	Al	アリウム サマービューティ													15pt
17	B	バプティシア (黄色系)													10pt



- ☑ 落葉性宿根草を想定した管理スケジュールです。
- ☑ 植付けは11-2月までに完了すると、春以降の生育がスムーズになります。遅くとも4月までには完了させましょう。
- ☑ 施肥は鶏糞ベースのNPK等量の有機質固形肥料を株元に1握りを春と冬に1回ずつ行います。
- ☑ 灌水は植え付け直後はしっかりと。週1回ペースで1カ月行い、それ以降は葉がしおれ始める頃にしっかりと灌水を行いましょう。
- ☑ レイアウト変更を行う場合は開花中、もしくは花芽が上がっている株の場合は地上部を約半分カットし、作業後はしっかりと灌水しましょう(その後の灌水方法は上記灌水方法と同様)



2 宿根草の紹介

市ヶ尾町公園



和名はノギリソウ。ノギリの葉のような小さく切れ込みのある葉をつける。日当たり、乾燥に強く病害虫も少ない。



開花当初は深い赤、咲き進むにつれてオレンジ色に花色が変化する。ブロンズ色の葉も美しく、鑑賞期間が長く丈夫。



和名はムラサキクンシラン。コンパクトタイプのアガパンサス。切り戻しなどの作業も無く、常緑性のため、冬の花壇の骨格となる。開花期には蝶の訪花が楽しめる。



和名はオオハンゴンソウ。真夏に小さなヒマワリのような花を無数に付け、シードヘッドも鑑賞できる。病害虫も無く、耐暑性に優れている。



6月から開花し、開花後の花の色の退色が少なく、シードヘッドが美しく鑑賞期間が長く、在来植物のため日本の環境で良く育つ。



切れ込みの入った葉が美しく、夏から秋の花壇を盛り立てる。



花色や花型(一重/八重)が豊富で病害虫も少なく、日当たりの良い花壇も半日陰の花壇でもよく育つ。花の少ない早春に花壇を彩る。



淡桃紫色のさわやかな花を真夏に開花する。耐暑性に優れ、切り戻しの作業も少なく株分けも容易。蜜源植物のため、チョウやハナバチが訪花する。



和名はオオハンゴンソウ。開花期にすらりと2mを超す草丈になり、夏の花壇のシンボリックな植物になる。ブルーグレーの葉も美しく、シードヘッドも鑑賞できる。



耐暑性に優れたユーフォルビア。花の少ない早春に変わった花を無数に付け、常緑の葉は冬の花壇の骨格になる。



和名はシマカンズゲ。乾燥に強く、明るいグリーンの葉が夏は涼しげに花壇を演出し、冬は常緑性のため花壇の骨格を作り、他の植物と合わせやすく、花壇に調和をもたらす。



和名はムラサキセンダイハギ。ルピナスのような花を咲かせ、ブルーグレーの葉もカラーリーフとして鑑賞できる。花色も豊富で風にそよぐ姿が美しい。